

視聴覚教育

NO. 419
発行日
28. 1. 29

発行
岡崎市AVL
編集
現職研修委員会
学習情報部

これ知ってる！？
『スティック型PC』
スティック型の超小型
パソコンの総称。サイズ
はUSBメモリほど。色
のバリエーションも多
く、ディスプレイも
HDMI端子に挿すこと
で別途用意が必要で
ある。

子供の学びを支えるICTの活用

現職研修委員会学習情報部長 市川 敏彦

児童の持つタブレット型端末から映像が流れると、参加者は食い入るようにのぞき込んだ。その愛くるしい野鳥の姿に、参加者の表情が緩んだ。今年度、環境省主催「第五十回全国野生生物保護実績発表大会」において、発表をした際の一コマである。この大会で、生平小学校は林野庁長官賞を受賞した。

本校は、昭和五十七年より全校で愛鳥活動に取り組んでいる。週一回の「ふるさとタイム」で地域の自然や野鳥について学び、ツバメの営巣調査や定点調査を行いながら、野鳥や自然環境の観察を続けている。その結果を愛鳥新聞やホームページなどを活用して、積極的に情報発信を行ってきた。今回の受賞は、このような活動が評価されたものである。

本校の取り組みの基盤は野生生物保護にある。そのため野鳥を始めとするふるさとでの自然を調査・観察し、愛鳥集会で学区の人たちに保護を訴えてきた。この活動を効果的に行う手だてとして、自ずとビデオ映像や写真等を使った発表が始まった。こうした姿こそが、ICTを効果的に活用した授業を創造する際の大きなポイントと言えよう。

パソコンや教材提示機、大型ディスプレイなど、今学校にはICTを活用した様々な機器が

ある。加えて中学校にはタブレット型端末も整備されている。これらのICTを効果的に活用すれば、瞬時に情報を共有できたり、子供の思考を活性化させたりすることができると、得られる効果はとて大きい。しかし忘れてはならないことがある。それは、ICTは目標達成のための手だてであり、授業の主役ではないということだ。大切なことは、あくまで子供の活動であり、授業を通して得られた学びなのだ。

だからこそ、授業の本質を大切にしたい。その授業を通して、子供たちにどんな力を付け、どんな思いを育てたいのか。教師はそれを明確にイメージし、具現化に向けてあらゆる方策を講じながら、子供を支援するのである。子供の視点に立ち、子供が主体となる学習をデザインすることが何より大切だ。花が咲かなければ、実はならない。子供の学びのためにこそ、ICTは効果を発揮するのである。

冒頭の全国大会で、発表を終えた生平小学校の児童に対して盛大な拍手を頂いた。子供たちの満足げな表情は、未だに忘れられない。

視聴覚教育あれこれ

ライブラリーの教材を使って授業を！
学習情報部実践部会の先生方が、各校でライブラリーの教材を活用した実践を行いました。その一部を紹介します。

☆学年・教科『単元名』

◇使用した教材

☆小一・特別活動『学芸会の劇・スイミー』

◇「世界絵本箱①フレデリック／コーネリアス／ぼくのだ！わたしのよ！／さかなはさかな／スイミー」

☆小一・生活科『ふゆとなかよし』

◇「生活科いろいろなあそび」

☆小四・社会『火事から暮らしを守る』

◇「岡崎市自作ビデオ教材
―ストッパ ザ・火事―」

☆小五・保健体育科『水泳』

◇「テレビスポーツ教室・水泳（クロール）」

☆小五・理科『流れる水のはたらき』

◇「流れる水のはたらき
～岡崎の川の探検をしよう～」

この他にもライブラリーには、授業に使える教材や機材がたくさん用意されています。映像教材や、視聴覚機器を効果的に活用し、授業に一工夫を加えてみてはいかがでしょうか。



II 実践報告 II

スカイプを使って、アメリカの友達と交流

奥殿小学校 阿路川 昌宏

奥殿小学校から突然アメリカに引越した兄弟がいた。突然であったため、お互いが非常に寂しさを募らせた。そこで、スカイプ（無料インターネット電話）を使っての交流の実践を行った。奥殿小と兄弟の交流で、両者の心の糧となつてほしいことや、奥殿の児童に異国の文化に興味・関心をもてるようになってほしいと願ったからである。スカイプの利点は、初期設定が簡単であることである。そして、世界中のどこにでも無料でテレビ電話や、テキストチャットなどができることである。さらに、「フリービデオコールレコーダー」を使えば、双方のテレビ電話の様子を録画できる。もちろん、パソコン環境や、通信速度に通信品質が左右され、会話のキャッチボールが難しいことがある。

実際の交流は、「アメリカのパトカーってどんなの?」「日本と違うよ」「どこが違うの?」「形が違うね。それとサイン音も違ってたよ」「今度、写真を見せるね」という感じだ。



授業参観では、保護者も参加して授業を行うなど、スカイプの交流を積み重ねたことで、子供たちも慣れ、上手に会話できるようになってきた。定期的なスカイプの交流実践を通して、文化の違いを肌で感じとり、子供たちが刺激を受け合い切磋琢磨している。今後も継続して交流を続け、子供たちの心のつながりを保っていききたい。

II レッツ・トライ II

各種印刷物をさっと作成

学級通信や部活動予定表など、印刷物は主に「ワード」を使って作成することが多い。しかし、図や絵を多用して編集すると、意図しない場所に図や絵が移動したり、画面通り印刷されなかつたりすることがある。そこで、「パブリッシャー」を紹介する。

パブリッシャーは、ポスターやチラシなど一枚物の出版物を作成する簡易DTPソフトウェアである。シンプルながらカタログのような複雑なものまで作成できる。ワードやエクセルでも同じようなデザインが可能だが、パブリッシャーの利点がいくつかあるので紹介する。まず、ワードに対する利点は、ページ単位でレイアウトを決めながら作業を進めることができることである。パブリッシャーでは、ページをまたいで図や絵が跳んでしまうことがない。また、入力している間に他のテキストボックスが移動してしまうことがない。次に、エクセルに対する利点は、パソコンの画面で見たままを印刷できるのでレイアウトしやすいことである。

私は、毎日の通信や掲示物でも有効活用している。勤務校でもパブリッシャーを活用して掲示物を作成する先生方が増えていく。図や絵を入れて見やすい通信や掲示物の作成をお考えのときは、活用されてはいかがだろうか。

(大門小学校 学習情報主任 西片茂雄)



ライブライブラリーだよ

岡崎市視聴覚ライブラリーには、たくさんのビデオ教材、効果音、機材があります。これらは、視聴覚ライブラリーのホームページから直接予約ができます。インターネット予約には、各学校に配付されているIDとパスワードが必要です。

予約方法は、『視聴覚教材機器利用の手引き』に掲載されていますので参考にして下さい。貸出期間は、貸出日を含めて七日以内で、三ヶ月前から予約ができます。

教材に関しては、「利用目的」の欄に利用目的に続けて「巡回郵便希望」と入力しておけば、巡回郵便で配達されます。利用期間内であれば、巡回郵便で返却することもできます。

所蔵教材の一覧は、『視聴覚教材・機器利用の手引き』に掲載されています。インターネットでの検索も可能です。ぜひ御活用ください。

※二月末から三月中旬にかけて機材利用の予約が殺到します。特にプロジェクトやデュプリケーターについては、短い期間に予約が集中しますので、計画的な予約をお願いします。

教材検索・予約 予約確認・取消 利用者ガイド

ここでは、教職員・行政職員を対象に、インターネットからの教材や機材の貸出予約を受け付けております。主なものは、16ミ映像、ビデオ教材などのソフトと、16ミ映像機、スライド映写機、液晶プロジェクター、OHPなどの機材があります。教育の推進に是非ご利用ください。